

公表日 令和 7年 2月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら横浜いずみ教室

保護者等数(児童数) 7名 回収数 7件(割合100%)

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6				教室が広く障害物が少ないので、先生たちの目も届きやすく、活動がゆったり出来そうに感じた。	基準より少し広く作ってあります
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	6			1		規定より多く配置しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6			1		階段には、手すりが設置されています。お部屋の中やトイレはバリアフリーです。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	6			1		常に換気・消毒を心がけています。おもちゃの消毒を毎日しています。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6	1				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6	1				
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7				毎月のカレンダーで、プログラムの内容が確認でき、またプログラムのねらい等も記載されているので安心できる	楽しめるプログラムをこれからも考えていきます
11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4			3			
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4			3		随時、保護者の相談にのらせていただいています。いつでもご連絡ください
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	7				毎回、送迎時にその日の様子を聞いて情報共有に満足しています。	ありがとうございます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5	1		1	SNSを通して、その日の活動が写真で見れるのと教室の様子がわかり安心しています。	いつも見てくださりありがとうございます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6			1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	1		3		こぼんまつりの参加。保護者を招待しました
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7					

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6			1		保護者用Facebookの開設
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6			1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5			2		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	6			1		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	6		1		楽しそうに教室でのことを話してくれます。	楽しんで通ってもらえるように、活動内容をさらに工夫していきます
	29	事業所の支援に満足していますか。	6		1		先生の対応、活動内容ともに安心でき満足しています。	ありがとうございます。これからも職員一同頑張っていきます

公表日

令和 7年 2月 20日

事業所名

こぼんはうすさくら横浜いずみ教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		1 基準より少し大きめに作ってあります	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		1 規定より多く配置しています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		1 視覚可や、扉を隔ててトイレと活動室を分けるなどわかりやすくしている。階段には手すりを設置	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		1 毎日消毒を行っています。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		相談室を使用するなど、個別の部屋の使用をしています。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		1 朝礼や終礼で情報共有や情報交換を行い、改善に努めている。	連絡ノートの活用
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		1 開所して、今回が初めての実施になります。今後は毎年行います。	
	8 職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		2 ミーティングや終礼など、意見を聞く時間を設けている	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7		1 第三者の外部評価を行なっています	職員の周知が必要
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		3 研修を実施しています。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		2 毎月、職員、保護者に配布を行う	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		1 面談や相談支援を行い作成しています	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		2	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		2	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		1	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		1 読めるようにしてあります。ガイドラインの読み合わせを行いましょ支援計画書が個人ファイルに入っています	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		2 数人の職員で行っています。何かいい案がありましたら、企画書を管理者まで	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		2 毎日違うプログラムになっています。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		2 行っています。支援計画をご覧ください	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		2 支援に入る前に行えない時は、随時、1人1人に声をかけさせてもらってるのが、ミーティングです。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		2 連絡ノートを活用したり、当日行えない時は、翌日以降の朝礼を行っています。退勤時にお声がけしてるのがそうです。	

適切な支援の提供	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	2	日々の記録を行っています。随時、管理者や児童発達支援管理責任者に報告を行っての思います。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しと必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	2	定期的に保護者との面談を行い、モニタリングをし個別支援計画の見直しを行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	7	1		
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	2	言葉だけでなく、決まったジェスチャーや物やカードを用いて自己決定できるように支援している	限られた人的、時間的、環境により時に自己選択ができない場面が
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	1	管理者・児童発達支援管理責任者が参加しています。	参画できているが、他職員に理解と周知を行っている
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1	管理者・児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	1	保護者を通して行っています	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	1	管理者が、担任の先生と電話で話をしています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	1	まだ、卒業する年齢のお子さんの利用はありませんが、いる際には行います。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	2	研修を受けている人といない人がいます	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	2		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	4	管理者・児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7	1	面談や電話だけではなく、送迎時、連絡帳などで行っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1	管理者・児童発達支援管理が相談に乗っている。	
	保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	1	契約時に行っています
37		放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	1	面談や相談支援を行い作成しています	
38		「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		個別支援計画の作成時には説明の上、同意捺印をいただいています	
39		家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			
40		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8			こぼんまつりetc
41		こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
42		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		フェイスブック	さほる通信の配布
43		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		鍵付き棚に保管	
44		障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
45		事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	1	同法人との連携	

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	1	毎月避難訓練を利用のお子さんと一緒に 行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		月1回の避難訓練の実施	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		契約時のアセスメントで聞き取り。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		契約時に聞き取りを行い、対応方法は保護者に事前に確認している。張り出しも行っている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	1		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		必ず年1回以上、研修を行っています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		身体拘束の基準を決めて、張り出しています	今のところ身体拘束するお子さんはいません